

平成 29 年度 第三回家庭教育学級 報告書

平成 29 年 11 月 25 日(土)、ラジオDJの秀島史香さんを講師としてお招きし、「空気は読むものではなく、つくるもの」と題した講演を行いました。秀島さんは現在FM局のDJやTV・CMなどのナレーションの他、絵本の読み聞かせ、通訳や字幕翻訳など様々な分野で活躍していらっしゃいます。

当日は三部で構成された形での講演を行いました。第一部ではプロジェクターを使ってのコミュニケーション方法を学んだ後に、実際にワークシートを使っての自己紹介。一生使える自己紹介を目標に、講師の秀島さんも参加者の席まで声掛けをしながらの和気あいあいとしたプログラム。第二部はピンチを切り抜ける方法として、緊張している時の脱し方、気持ちのあり方などを教えていただきました。第三部は一生使える話題の拾い方・見つけ方をテーマに初対面の相手への接し方、人見知りで自分から言葉をかける行為が苦手な人には…?など、さすがはお話のプロ!と思わせる納得の講演内容に加え、秀島さんの優しいお人柄に参加者全員が「参加してよかった!(*下記参照)」と思える講演会になりました。

参加者からのご意見(一部抜粋)

一生育てる「自己紹介レシピ」や話題の見つけ方など、日常に役に立つお話を沢山聴けてとてもためになりました。

コミュニケーションのベテランからためになるお話を沢山聴けました。自分の「今までの会話や口下手のネタを見直せるよい機会になりました。

子どもも集中してお話を聴いていてびっくり!空気の作り方、とても参考になりました。「好き」を「仕事」にするために、親に言われるよりも心に響いたようです。

リラックスするには「笑い」がとても重要!という秀島さんの説明に共感(納得)。

…などなど、ここには書ききれないほどのアンケート結果をいただきました。

反省点

講演前にメールでの募集連絡や前もってのアナウンスをしなかったせいか、当日の無断欠席が思いのほか多かった。やはり直前のリマインダーは必要だと再確認。

文化厚生委員での活動のほとんどがランチルームでの講演、その際にプロジェクターの使用がほとんどなので、準備品として養生テープや延長コード・ケーブルなどは個人のものではなく備品として文化厚生(あるいはPTA)活動費を利用しての購入・使用が望ましい。今回は私物を持参したものが多かったため、次回からの参考までに。

単Pの講演と家庭教育学級のチラシの配布日のメ切日が全く同じだったので、事前に学年委員担当との話し合いで避けることができればよかった。